# 葉山の仲間たち

2015年12月25日発行 第25号
NPO法人葉山まちづくり協会
〒240-0112 三浦郡葉山町堀内1874
町立図書館2階
TEL&FAX 046-876-0421
e-mail : office@hayama-npo.or.jp

葉山まちづくり協会 検索

## 師

師走とはよく言ったもので文字どおり「師」が「走る」くらい慌しい年の瀬。やらなきゃいけないことがたくさんあって、ゆっくりと一年を振り返るひまもない。だからこそ年末年始は身近な日本の風習を意識し、心を穏やかにして過ごしたい。人々が長年にわたって伝えてきた習慣にならう、それは少し緊張感があり心が洗われる。厳かであったり、にぎやかであったり、そこに漂う雰囲気はさまざまだが、新しい年への願いや自分の心にある誓いを抱いていけば、きっと何かに背中をおされるように勇気や活力を得るだろう。その思いを大切にしてあせらず少しずつ少しずつ、新しい年の日々を歩んでいきたい。

新しい年もみんなが笑顔で過ごせる一年でありますように。

### 氏子安泰祈年祭（初詣）
森戸神社　1月1日

新年を迎えると同時に行う一年で最初の神事で、一年間の平穏無事を祈ります。

### 湘南（逗子葉山）七福神巡り

1月1日～10日は7つの寺社すべてで本尊を開帳。

逗子　宗泰寺（桜山）…大黒天
　　東昌寺（池子）…福禄寿尊
　　光照寺（沼間）…寿老人
　　延命寺（逗子）…厨子弁財天
葉山　玉蔵院（一色）…恵比寿
　　仙光院（長柄）…毘沙門天
　　長運寺（長柄）…布袋尊

### 御奉射祭（おびしゃさい）
御霊神社　1月7日 11時～

4月に小学校入学予定の男児が弓を射ます。質実剛健な成長を祈るお祭り。

### 初詣

開運 招福

#### 除夜の鐘

一年の無事を感謝しつつ新しい年を心静かに迎えましょう。町内で一般参拝者が鐘を撞けるお寺は、新善光寺（上山口・23時30分～）と光徳寺（堀内・23時45分～0時45分）

除夜の鐘の音とともに初詣。甘酒のお振る舞いも。

#### 年越の大祓い（おおはらい）
森戸神社　12月31日 15時～

「人形（ひとかた）」で身体をなでて息を吹きかけ、この人形を身代わりとして、1年間の最後の日に大海原に流し、新しい年を清らかに迎えるために罪や穢れを祓い清めます。

### どんど焼き（1月中旬）

新年の門松、お飾りや去年のお札を焼いて一年の無病息災を祈る習わし。
左義長（さぎちょう）、さいと焼きなどとも言われる。

| | | |
|---|---|---|
| 1月 9日（土） | 9時～ | 三ヶ浦海岸 |
| 1月 9日（土） | 9時～ | 諏訪町下海岸 |
| 1月10日（日） | 9時～11時 | 一色海岸 |
| 1月10日（日） | 未定 | 長者ケ崎海岸 |
| 1月10日（日） | 10時～11時半 | 鎧摺小浜海岸 |
| 1月11日（月祝） | 9時～10時半 | 御霊神社 |
| 1月14日（木） | 6時半～10時半 | 真名瀬海岸 |
| 1月14日（木） | 8時～ | 森戸神社境内 |
| 1月17日（日） | 13時点火 | 本圓寺前木古庭公園 |

（12/8現在）



## 葉山で日本の伝統楽器「箏・三弦」を伝える
石川弥生さん

葉山町文化祭「葉山三曲会演奏会」の演奏が11月3日に行われました。

三曲会の皆は1年間かけてこの日に向け練習し、終わるとすぐに「来年はなにを弾こうか？」と計画するそうです。

葉山三曲会会長の石川さんにお話を伺いました。

三曲とは、箏（琴）・三絃（三味線）・尺八（または胡弓）の三種類の楽器で演奏することです。

「こと」は一般的に「琴」の漢字を思い浮かべると思いますが、「琴」と「箏」は違う楽器です。「箏」の絃は十三本あり、箏柱（ことじ）を動かすことにより音程を変え演奏します。一方「琴」は柱を用いず、左手で絃（かんどころ）を押さえて演奏します。

琴古流尺八師範の資格を持っていた父の勧めで4歳から生田流箏のお稽古を始めてこの道50年余り。教える立場ではありますが、今でも家元のお稽古に通っています。お家元は93歳で箏・三絃の現役奏者で 矍鑠（かくしゃく）としたお姿は邦楽界、一門の目標です。

私の生徒は20代～60代の数名ですが、35年間通っている生徒もいます。また、88歳の方が「20代の頃、箏を習っていたのでまた弾きたい」と尋ねてみえ秋谷から数年通われていました。以前は子供の頃「おこと」をたしなむ方も多く今でも家に箏をお持ちのようです。何百年も前から伝わる日本の伝統楽器があまり普及していないのが残念ですが、箏は古典から現代邦楽まで演奏可能な楽器で、こどもからおとなまで出来る楽器です。

皆にもっと気軽に演奏や聴く事を楽しんで頂きたいと思い、葉山の中では文化祭・しおさい公園・ホームコンサート演奏などを企画しています。小さい舞台から大きい舞台までお客様に満足して頂けるように日々練習し、自分自身の達成感を次へのエネルギーとしてがんばっています。日本伝統音楽の長い歴史の中、箏・三絃に携われたことに感謝して後世へ伝えていきたいと思います。

「六段の調」の楽譜

葉山町文化祭
「葉山三曲会演奏会」は晴れの舞台！

## みんなで歌おう アミスタ（友情）会

18曲の懐かしい名曲を大合唱し、楽しいひとときを過ごしたいと思います。お一人でもお気軽にご参加ください。

日時：2月14日　日曜日
時間：14時～16時
場所：葉山福祉文化会館大会議室
費用：500円
連絡先：☎（875）0029
60才からの音楽教室　高梨

## 葉山まちづくり協会発の新しい絵ハガキが加わりました！

**イラストレーター つがおか一孝さんの「葉山・暮らしの中で」**

一文添えるのにいいです。葉山の海岸風景をイラストにした5枚セット三百円。葉山町立図書館二階の葉山まちづくり館で。

## ごめんなさい

葉山の仲間たち24号掲載の気になる店・八百清の店主を「中沢章一さん」と紹介しましたが正しくは「中島章一さん」でした。

## 葉山まちづくり館ブックストア

開店しました!!　まちづくり協会の扱っている地図や出版物を全国の人に紹介しているウェブショップです。

「葉山を歩こう散策マップ」「葉山の山歩きコース」「郷土誌葉山」など今のところ5アイテムを掲載、カード払いで購入いただけます。

https://hayama-bookstore.stores.jp/

# 人間作りを大事に
## ～木古庭ファイターズ～

葉山町に1チームしかないソフトボールチーム。現在23名が在籍する。練習は週に4回で、練習試合も含めると年間120試合をこなす。

取材に訪れた日は横須賀の豊島グリーンスターズと合同練習をしていた。基礎を徹底的に身につける。常に声をかけ合う、をモットーにその時間をソフトボールだけに集中していた。

監督の三堀幸雄さんは言う。「最近の子どもたちは団体スポーツに慣れていない。仲間たちとひとつの目標に向かって頑張ることによって人間として成長する」。小学校では見ることの少なくなった叱咤激励、厳しい練習にプレイする子どもも、それを見守る親も、ともに成長する。人間作りを大事にしている監督は、子どもたちのことをよく理解している。その子供に応じた適切なアドバイスで、プレッシャーやスランプをはねのける力をつけていく。

監督歴はなんと34年。2世代にわたってチームに所属している家族もあり、チーム力の強さを感じる。OBが練習にかけつけ、後輩の指導にあたる姿も頼もしい。

子どもたちのプレイする真剣なまなざしは眩しい。スポーツと人間形成。成長する子どもにとって大事な何かがここにはある。

木古庭ファイターズと豊島グリーンスターズ

プレイに集中する子どもたち

## 目標は県大会優勝！

現在、横須賀・葉山地区では26チームがソフトボール協会に登録している。県大会は夏と秋の2回。試合の成績によりポイントがつき、上位チームが県大会に出場できるということで、木古庭ファイターズは県大会に出場する常連の強豪チームだ。今年の夏の県大会では64チーム中16位という成績をおさめた。過去には、夏に1回、秋に2回、優勝という輝かしい成績を残している。

目標は県大会優勝。最高の結果を残すために、子どもたちは、がむしゃらに練習する。

チームメイトも募集中だ。

# ～お店探訪～

## 隠れ家レストラン
## セカンドハウスHA・YA・MA

そのレストランは木古庭の県道から山へ抜ける道を数分歩いたのどかな里山に囲まれたところにある。築150年の納屋を改築した店内に入るとふたりのスタッフがやさしい笑顔で迎えてくれ、そこから静かで穏やかな時間が始まる。昔のままの太い梁、廊下に置かれた茶箱、建具のねじ締りの鍵などが懐かしいおばあちゃんの家を思い起こさせる。何時までものんびりと過ごせる場所でありたい、そんな思いもお店の名前「セカンドハウス」にあるという。

シェフの伊東さんはもともと葉山出身、京都で修行をしたあと葉山に戻りレストランを始めた。隣りの畑で育てた野菜、地元でとれた魚や肉を使った料理はどれも丁寧に作られていて見た目も味も「美しい」いう表現がぴったり。庭の花や葉がそっと添えられているのもうれしい。

窓の外に広がるのどかな景色と畑でとれる旬の野菜を使った料理を楽しみに、四つの季節ごとに訪れたいお店だ。

趣のあるお店

この日の前菜

## こだわりのお米
## 「つばき米店」

県道27号線沿い、木古庭児童館そばにある「つばき米店」。創業は1962年。現在は4代目となる。

「安心・安全・美味しさ・信用第一」をモットーに、誠実な商売を長きにわたり続けた結果、葉山をはじめ横須賀、横浜にも多くの顧客を持つ。

お店いち押しの米は「雪つばき」。新潟コシヒカリの中で、その年の美味しい米を厳選し、ブレンドした米だ。精米の仕方にもこだわりがあり、精米して一週間以内の米が店頭に並ぶ。「炊きたての米は何でも美味しい。だから、米は冷めてからが勝負。おにぎりがとっても美味しい」「ここのお米を食べたら、他では買えない」と話すのは取材中に来店されたお客様。お店に置いてある産地直送の漬物もお米との相性がバツグンだ。店主のお話にも米に対する自信がうかがえる。

来店・ご購入された方にはプラッシー（オレンジジュース）をプレゼント。もちろん配達もしてくれるので、問い合わせてみるといい。

年末に販売するのし餅もおすすめだ。

県道沿いにあるお店

4代目ご家族



# 地域愛を育てたい！
## 紙芝居「しもやま よもやま むかしばなし」

下山口にある神明社で月に1度行われている「神明社あさいち」。その実行委員の有志が約300年前に建立された神社の成り立ちをまとめた紙芝居を完成させ、10月4日にお披露目された。実行委員の川崎さんにお話を伺った。

この「あさいち」は3年前に先祖代々暮らす住民と新しくここに暮らし始めた住民の交流を目的に始められた。

昔は生活の中心地であった神社。しかし、今は、その由来やここに神社があることすら知らない人たちもいる。神様が寂しがっているのではないか…。

そこで、地域の歴史・古い言い伝え・消えつつある文化を子どもたちにも知ってもらい、楽しめる形で伝えたい。自分たちの住んでいる地域の歴史を知ることにより、より郷土を愛する心が生まれるのではないか？　こんな思いをこめて紙芝居の制作を思いついた。

物語は300年前の下山口。地域で病いが流行った際、村の役人が滝に打たれながら村人の回復を祈ると枕元に仙人が現れ、その教えに従い、長者ヶ崎の浜を歩くと波間に光輝く像を見つけ、それを祀る社を建てた、と神明社の由来を紹介している。（参考『郷土誌 葉山 第7号特集 下山口』 葉山郷土史研究会発行）

一部脚色されてはいるが、ほとんどが史実に基づいて作られたもの。紙芝居の絵の木版画ができ上がってきたとき思わず「可愛い！」と言う声があがったそうだ。

今後は図書館にも置かれる予定。また「神明社あさいち」のひな祭りなど節目の時にも上演される予定です。見逃した方はその機会に。可愛い紙芝居絵が待っています。

## ―発足から一年が過ぎて―　一色地区福祉の輪「ぬくもり」の会

一色地区福祉の輪「ぬくもり」の会が発足して一年が過ぎた。11月10日の役員会では、この会の地域で果たす役割・意義などの話し合いが「はやま住民福祉センター」の職員も交え、真剣に行われた。

一年間の中で見えてきたことは『行政ではつかめない、そこの地域の生活者でなければわからない地域の課題』。本当に困っている人は自ら助けを求められない、そういう人たちのどれだけ手助けができるか、その部分を主眼に置き、活動を推し進めていく方針だ。

また、気持ちのうえでは、例えば、買い物の手助けも、代行でメモの物を買い物してくるだけではなく、一緒に行って、賑わいの中で自分で買いたい物を選べるような、その人に寄り添える支援（心に寄り添った支援）ができるようになればと願っている。

しかし、それには、手助けをしてくれる地域の協力者が数多くいなければ難しい。いよいよ実践にあたり、この会の目的を『生活問題の発見』『生活の支援』『地域の福祉課題等を明らかにする』に向けて、活動を開始する。

## はやまボランティアセンターが「はやま住民福祉センター」に改名

葉山町社会福祉協議会の「はやまボランティアセンター」が「はやま住民福祉センター」に平成26年4月1日から改名した。ボランティア活動も現状に合わせて様変わりし、自分たちの地域で自分たちの生活上の課題を解決しようという動きが生まれてきた。となり近所に目が届くことから個別支援活動も可能になりつつある。

そんな町民活動を、具体的に支援しているのが「はやま住民福祉センター」である。近く町民活動者を対象にした研修を予定している。

**地域福祉推進研修**
**コーディネーター研修会**

〈日時〉平成28年2月7日（日）
10時～
〈場所〉一色小学校新館　301教室
〈問合せ・申込み〉
葉山町社会福祉協議会
☎ 875-9889
担当　山下